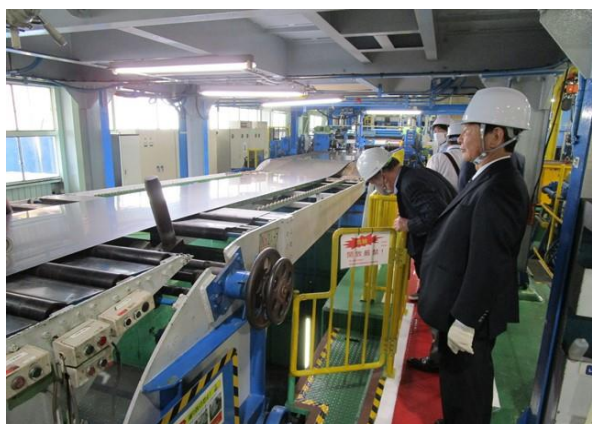


令和5年 春の国内工場見学会

新型コロナウイルスの影響で令和元年9月を最後に3年半以上中断しておりました国内工場見学会を久しぶりに実施致しました。令和5年5月18日（木）午前9時に貸切りバスにて出発致しました。今回の見学先は① 中川産業株式会社（東大阪市）と② 株式会社カサタニ（西宮市）の2社を見学訪問致しました。今回の参加者は見学先からの制限があり定員25名となりましたが、それ以上の多くのお申込みがありました。先着順で受け付けさせて頂きました。

① 【中川産業株式会社】

創業1946年、資本金2,468万円、従業員53名 切り板1枚から大量生産まで対応するコイルセンターとして普通鋼とステンレス鋼の両方を取扱っておられます。コイルセンターとは鉄鋼メーカーから母材を仕入れ顧客の要望に応じて切断加工などをして顧客に届ける役割です。設備としてはスリッターやレベラーなどで加工能力は7,000トン/月とのこと。更に中川産業様は部品加工部門もありプレス加工や板金加工をして顧客へ部品納入しているそうです。工場内は写真撮影もOKとのこと。大型の設備で加工されている様子が見られ、コイル材や板材の量の多さには圧倒されました。金属プレス業界にとっては身近で頼りになるコイルセンターです。白木社長はじめ今回ご案内頂いた方々に感謝致します。



中川産業様の工場見学の様子



中川産業様の工場見学の様子



白木社長を囲んで記念撮影

② 【株式会社カサタニ】

設立 1954 年、資本金 9,800 万円、従業員 284 名 自動車用板バネの製造から始まりビデオ機器用のプレス部品の製造を経て樹脂射出成型加工を開始し、現在では金属と樹脂が一体となったインサート成形も得意とされ、自動車用部品をはじめ様々な分野に精密プレス部品、精密プラスチック部品を製造、納入されています。生産拠点は今回訪れた西宮の他に兵庫県の篠山、海外では中国に 2 拠点とマレーシアにもあるそうです。

カサタニ様は新技術開発に積極的に取り組まれ、特に難加工材のマグネシウム合金のプレス製品では第 5 回ものづくり日本大賞特別賞も受賞されています。更に CFRP (炭素繊維強化樹脂)、CFRTP (熱可塑性 CFRP) のプレス成型加工の工法を確立されてアシックス競技用シューズ開発にも参画されています。

工場は新しく清潔で広々としています。第 1 工場では主にプレスの製造を第 2 工場では射出成型機によるインサート加工などを見学させて頂き随所に工夫が満載されていました。品質面においては多くの検査員が検査する様子の他にカメラによる自動検査機も随所に導入されていました。関西圏においては家電メーカーが衰退する中で新しい技術や新規事業の開拓をされて技術のカサタニを確立されていることに関心致しました。笠谷社長はじめご案内頂いた皆様に感謝致します。



笠谷社長による会社説明



株式会社カサタニの会社説明の様子



笠谷社長を囲んで記念撮影